

『2017 日本のハーブ・植物療法 & 自然欠乏症候群』

～朝霧高原の植物をハーブとして活かす

モミバーム作り&クロモジの蒸留&植物染め～

in 富士山静養園

2017年7月15日(土)～17日(祝・月) ♡ 2泊3日

♡講師♡ 村上志緒 (むらかみ しお) (株)トラボ 代表・「トラボ植物療法の学校」主宰・薬学博士

♡参加費♡ 47,800円(税別)(プログラム参加費、宿泊費、食費のすべてを含みます)

*良導絡検査1,000円税別 希望者別途有料

♡場所♡ 富士山静養園 静岡県富士宮市猪之頭 2582 TEL:0544-52-2611(日月倶楽部代表)

富士山静養園 HP:<http://www.mt.fuji-seiyoen.com/>

♡お申し込み&お問い合わせ♡ MAIL: info@mt.fuji-seiyoen.com TEL:0544-52-2611 担当:村松

♡スケジュール♡

1日め♡7月15日(土)

14:00 集合、良導絡検査、体質チェック

15:00 あいさつ

15:30 植物染めで作る Cotton の巾着袋(ヨモギ、クズなど)

18:00 夕食 薬膳茶

19:00 自然欠乏症候群セミナー(山本竜隆先生)

20:00 入浴、フリー

22:00 就寝



2日め♡7月16日(日)

6:00 起床、朝の散歩、日の出、富士山の湧き水取り

9:00 朝食 薬膳茶

10:00 水蒸気蒸留(クロモジまたはモミ)

12:00 昼食

14:00 モミの葉を用いたバーム作り

16:00 アップルミントのコーディアル作り

18:00 夕食 薬膳茶

20:00 入浴、フリー

22:00 就寝



3日め♡7月17日(祝・月)

9:00 朝食 薬膳茶

11:00 解散



*時間は状況により変更する場合がございます。また、天候によってプログラムを変更する場合がございます。

❀講師プロフィール❀

村上 志緒(むらかみ しお)

(株)トラボ代表・「トラボ植物療法の学校」主宰・薬学博士・理学修士。
早稲田大学及び早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程修了。東邦大学
大学院薬学研究科博士後期課程修了。
植物療法学(民俗薬草文化、作用機序、特に向精神作用)を研究。
著書・監修に『日本のハーブ事典』『日本のメディカルハーブ事典』他
トラボサイト <http://www.totolab.com>



山本 竜隆(やまもと たつたか)

医師・医学博士 朝霧高原診療所 院長
WELLNESS UNION(富士山静養園・日月倶楽部)代表
聖マリアンナ医科大学、昭和大学医学部大学院卒業。
内科研修、医学研究の後“アンドルー・ワイル”が主催する米国アリゾナ大学医学
部統合医療プログラム Associate Fellow(2000年～2002年)をアジアで初めて
修了。その後、統合医療ビレッジグループ総院長(東京・四谷)、JA 中伊豆温泉病院内科医長、(株)小糸製作所静
岡工場診療所所長・産業医などを経て現職。自ら湧き水や薪での生活をしつつ、地域医療とヘルスツーリズムの
両輪で、地域活性や“自然欠乏症候群”の提唱などの活動している。
著書「自然欠乏症候群」「食べ物で体の不調を治す本」「統合医療とは何か?が、わかる本」



❀富士山静養園について❀

富士山静養園は標高約700mの中山保養地に位置づけられ、霊峰富士の真西で、
富士山と出雲大社を結ぶ日本を代表するレイライン上、また富士箱根伊豆国立
公園内の自然湧水や自然林に囲まれた約20000坪の敷地内にあります。このよ
うな環境の中に身を置くことで、自然との融合や自然によって生かされてい
ることを体感し、また自然の摂理、先見、儉約、また自然に対する畏敬の念、物事の
優先順位などを再考・再認識していただければと考えています。自然に囲まれた‘静寂さを保つ場’富士山静養
園と、その中に移築・再生した約200年前の古民家施設において、気付くこと、出来る事を、皆様ご自身が見出し
てくださることを、我々は心より願っております。



🚗アクセス 富士山静養園 静岡県富士宮市猪之頭 2582

・東京からのアクセス

【高速バス】 東京駅八重洲口⇒白糸の滝⇒タクシー10分⇒富士山静養園

【新幹線】 東京駅(こだま)⇒ 新富士駅 下車⇒路線バス乗換

路線バス(新富士駅～白糸の滝)⇒タクシー10分⇒富士山静養園

・関西方面からのアクセス

【新幹線】 静岡駅から特急ふじかわまたは在来線乗換⇒富士宮駅⇒路線バス乗換

または 新富士駅 下車⇒路線バス乗換

路線バス(新富士駅または富士宮駅～白糸の滝)⇒タクシー10分⇒富士山静養園

